

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

第15回全日本民医連学術・運動交流集会
スローガン
**憲法が生きるコロナ禍の
新しい社会へ力を合わせよう**
日時▶10月22日(金)13:00~
23日(土)~18:00
開催方法▶オンライン
主催/第15回全日本民医連学術・運動交流集会実行委員会
TEL:03-5842-6451

みやぎ民医連

発行所 宮城県民主医療機関連合会
仙台市青葉区木町通1-8-18
〒980-0801 田村ビル5F
TEL 022-265-2601
FAX 022-263-8266
e-mail:dai@miyagi-min.com
発行人 坂田 匠
1日・15日 月2回発行 1部50円

一人ひとりが政治に関心を持ち、 主権者として選挙に参加しよう

宮城県民医連事務局長 加藤 隆 雄

今年は、仙台市長選挙(7・18告示、8・1投票)から、衆議院選挙(10・21任期満了)、宮城県知事選挙(11・20任期満了)と県内での選挙が続きます。希望もてる社会への一歩を進めるチャンスです。

このように国民生活が危機にあるにも関わらず、政府は「自助・共助」を基本とした全世代型社会保障改革をさらに進めようとしています。今こそ、医療や介護・福祉現場の実態を広く社会に知らせ、いのちと暮らしを最優先にする政策に転換させる必要があります。



街頭で選挙に行こうと呼びかける「いのち、緑、平和を守るみんなの会」の人たち

は困難です。そのため、国会や地方議会に代表の議員を送り、議会では法律や予算などを決めていきます。議会制民主主義です。その代表の選出方法



浴衣でヨーヨーつり

コロナ禍のもとの夏まつり

子どもたちと やれることを見つけて楽しんだ

岩切たんぼほ保育園 小林 由 佳

不安が大きくて、「何ならやってみようかなあ?」ということが中心になっていました。開園から、3回目となる夏まつりについては、「夏まつり委員会」を立ち上げ、若い職員も一緒に子どもたちを楽しませるために何をしようかと意見を出し合いました。そこで、夏まつりを二日間にして小さいクラスも含めた夏まつりを充実させたいと考えました。

7月8日、9日に夏祭りを行いました。去年から引き続きコロナ禍の行事ではあります。が、去年と大きく違うところがあります。

遊びコーナーは未満児クラスの子どもたちも楽しめるようなものを考え、いくつかの種類のコナーを作った取り組みました。雰囲気作りにかかせなかったのが、幼児クラスの子どもたちや職員が浴衣で参加し、七夕

法が選挙制度です。意思決定をする議会に、私たちが選挙に参加すること

切です。県連理事会で選挙方針が確認されました。宮城県民医連2021選挙推進委員会も活動をスタートしました。私たち一人ひとりが政治に関心を持ち、選挙に参加することで、主権者としての自らの意思を示しましょう。

室の協力もあり、二日間夏まつりメニューを提供することができました。おやつには、ポップコーンやチョコバナナ、かき氷も食べることができました。

戦後76年を迎え、被爆者も高齢になり、証言活動が難しくなっています。コロナ禍で難しい時期ですが、生徒達も抱えています。生徒達は当時の資料を探し出し

とです。保護者の方にも一緒にお祭り気分を味わってもらいたいという思いから、「岩切たんぼほ花火大会」と名付けて、各クラスで作った花火を二階の踊り場に飾りつけ、打ち上げの音をスピーカーで鳴らす効果音は、まさに花火大会の臨場感たっぷりとなりました。保護者の方たちも大変喜んでくれました。また、給食

年長クラスがオーブニングで取り組んだ竹太鼓の竹を、保護者の方のご厚意でもらうことができました。お神輿の材料を保護者の職場から頂いたり、おさがり浴衣を寄付していただいたりと、保護者関係の温かさを感じました。今後も制限がある中で、何をするにしても、どうしたらできるのかを職員全体で考え、子どもたちが笑顔になれることを願いたいと思います。

続いて被爆者の木村耕沙子さんと、木村さんの証言をもとに「原爆の絵」を描いた基町高校の川崎あすかさんとの対談が、基町高校美術科の福本弥生先生の進行で行われました。お二人は、昨年の8月の原爆の絵画展で出会い、木村さんの体験を聞き描くことになったとのことでした。川崎さんは木村さんの絵が描けて残せてよかった、しっかりと見ていただけたらと思うと話されました。

「原爆と人間展」 被爆者の証言を 絵で伝えたい

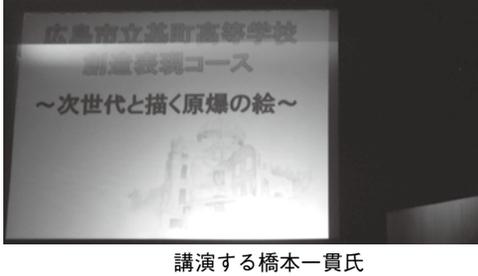
7月23日、宮城県原爆被害者の会(はぎの会)の主催による「原爆と人間展」イベントが仙台市福祉プラザにおいて開催されました。

とのことでした。基町高校には、美術を専門に学ぶコースがあり、広島平和記念資料館が主催しているプロジェクトに参加しています。

高校生が被爆者から話を聞いて、つらい場面を絵に描くことがトラウマにならないかと危惧されたとのことでした。生徒達にどうプラスになるか、高校生自身が工夫したり、証言者に寄り添い質問した

記念講演は、「原爆の絵を描くことの意味」と題して、広島市立基町高校で「原爆の絵」の担当教諭を務めた、橋本一貫氏からお話がありました。2007年から14年間で190点となる「原爆の絵」は、広島平和記念資料館からの依頼で、被爆者の方の証言活動で、言葉では伝わりにくいことも絵にすることで伝わるのでは、とはじめられた

講義する橋本一貫氏



講義する橋本一貫氏

健康手帳

普段あまり相撲は観ませんが、全勝対決というところもあり夏場所の千秋楽をテレビで観戦しました。立ち合いでのかけひきで「おやつ?」問合いをなかなか合わせないなど」と気になりました。あまり気にしていませんでしたが相撲の立ち合いは、制限時間いっぱいになった時は別ですが、取組みでは両力士の「阿吽の呼吸」で立ち合いが行われています。ただ、勝負ごとですから、今回のようなかけひきも当然あるのかなと思います。江戸時代初期には行司によって立つタイミングが仕切られていたようです。▼日頃の仕事の中でも「阿吽の呼吸」を感じられる場面は稀に経験します。自分とパートナーで相手側と話す際に、自分の持っている情報とパートナーが持っている情報の共通の部分はどこが話してもよいわけですが、以心伝心と言つと言い過ぎかもしれませんが、どちらかだけでも話しているわけではなく相手も含め3人で会話をスムーズに運べた時は心地よい感じになります。▼その場の空気感が「阿吽の呼吸」を作ると考えると、今Webでの会議等が定着しつつありますが、Webで行うべきか、対面で行うべきものか判断するのはとても大事な気がしています。

連載 131

私の好きな憲法は何条?



宮城野の里

菊池 章郎

私の好きな憲法は、第九十七条です。法学部の学生時代に法律を勉強していた中で、最も心に響いた条文です。ただ、これまで多くの方が、第九十七条について書かれているので、今回は、私が最も気に入っている条文を取り上げたいと思います。

取り上げる条文は、第七十九条第二項「最高裁判所の裁判官の任命は、その任命後初めて行はれる衆議院議員総選挙の際に審査に付し、その国民の審査に付し、その後十年を経過した後初めて行はれる衆議院議員総選挙の際に審査に付

し、その後も同様とする」と同条第三項「前項の場合において、投票者の多数が裁判官の罷免を可とするときは、その裁判官は、罷免される」です。最高裁判所裁判官の国民審査についての条文ですが、学生時代にこの条文を初めて読み、「最高裁判所の裁判官は、国民の気まぐれでクビになるかもしれないんだ。怖い制度だなあ」と思いました。ただ、政府もそんなことがあつては困るので、「最高裁判所裁判官の国民審査は、既に任命されている最高裁判所の裁判官が、その職責にふさわしいかどうかを国民が審査する解職の制度であり」、投票方法も辞

めさせたい意思があれば投票用紙に「×」を、なければ何も記載しないとされています。そもそも、選挙の際、最高裁判所の国民審査について、真剣に考えて投票する人はほとんどいないと思います。裁判官が何をしているのかなんて考えたこともないし、自分にとってはあまり関係のないことだと思っ

ては、最近、新聞を読んでいて、最高裁判所の判決が私たちの暮らしや生き方に密接に関係している

いる方が増え、様々な支援が必要となってきています。医療系の一部負担はありませんが、福祉系の介護サービスの利用者一部負担は県によって異なり、宮城県は残念ながら立て替え払いです。また、介護手当や葬祭料等の制度もあるものの、関係者に周知されているとは言いえない状況にあるようです。

今回は、様々な被ばく問題を深める有意義な機会になりました。現在行っている「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」や「原発ゼロ基本法を実現しよう」署名、各地・各事業所で取り組んでいる「原爆展」などに多くの人が参加され、身近なところから様々な活動を広げていければと改めて感じました。

職員のみならず、共同組織のみならず、県連奨

全日本民医連被ばく問題交流集会

いのちと健康を守る取り組みを交流

宮城厚生協会 職員健康サポート室 佐藤 知佳子



リモートで参加

7月17日に第17回全日本民医連被ばく問題交流集会がリモート形式で行われました。原爆被爆者をはじめ、キ二環礁水爆実験等の被害者、福島原発事故の被害者・原発関連労働者のいのちと健康を守る取り組みをすすめるための交流集会でした。

記念講演は、日本平和新聞編集長の布施祐仁氏の「核兵器禁止条約発効の意義と日本政府の参加を求めるとりくみ」。今

年1月に核兵器禁止条約が発効しましたが、これは非核保有国が勝ち取ったものであり、現在批准は55か国に広がっています。世界に今なお1万4000発の核兵器が存在し、事故や誤算によって核爆発が起こることもあり、万が一米中戦争が起これば戦場となるのは日本である、世界や日本の情勢を踏まえて核廃絶のための道筋をわかりやすく話されました。

続いて①福島県のいま、②黒い雨訴訟のとりくみ、③ビキニ労働裁判のとりくみ、の報告があり、それぞれの現状と課題を周知させて運動を粘り強くすすめていく重要性を感じました。

テーマ別セッションは①原発事故避難者健診活動交流、②被爆者医療活動交流が行われ、私は②

坂総合病院では被爆者外来を月1回行っており、私も携わっています。通院者が徐々に減少し、足腰に障害が起きて

いる方が増え、様々な支援が必要となってきています。医療系の一部負担はありませんが、福祉系の介護サービスの利用者一部負担は県によって異なり、宮城県は残念ながら立て替え払いです。また、介護手当や葬祭料等の制度もあるものの、関係者に周知されているとは言いえない状況にあるようです。



「被爆者援護法」における各種手当の概要と「高齢被爆者の在宅支援や施設相談などの現状」の報告を受けました。

宮城民医連 震災10年目企画 オンラインで開催

学生のみなさんに参加の呼びかけをしております。お問い合わせは県連事務局まで。

県連職員紹介
県連に矢口まり子さんが、着任しましたので紹介します。次の質問に答



えていただきました。①氏名②入職年③前職場④担当⑤出身地⑥居住地⑦趣味・特技⑧県連職員に一言

①矢口まり子②2011年③坂総合病院総務④機関紙・共同組織⑤山形県⑥仙台市⑦猫グッズ集め・映画鑑賞⑧お世話になります、よろしくお願

看護学生室で オリジナルキャラクターを募集中!

県連看護学生室では、ホームページやLINE・Instagramのアカウント使用する「イメージキャラクター」を募集しています。
※未発表でオリジナルのイラストに限ります。
※手描き・デジタル作成どちらでも可(できればデジタル作成歓迎)です。
※お子さん考案・作成のキャラクターもOK!
※詳しくは、サイボウズ掲示板の応募チラシをご覧ください。

応募資格：宮城民医連職員
応募メチ：2021年8月31日(期日に間に合わない場合はとらずエントリーを)
応募・連絡先：
坂総合クリニック5F 看護学生室・内線2271(看護学生室)・4197(吉田)・4211(奈良) kangogakusei@miyagi-min.com(看護学生室のe-mail) nara-215@zmkk.org(県連・奈良)

めでたく採用された方には、5,000円のクオカードをプレゼントします!!

まずは、ご連絡ください。お待ちしております!

暑さを吹き飛ばす特選パズル

ナンクロ

【問題】
次のように表される言葉は何でしょう?

17	18	19	20
----	----	----	----

パズル制作/ニコリ

【解き方】

同じ番号には同じ文字を、違う番号には違う文字を入れて、クロスワードを完成させてください。最初に出ている文字を手がかりにして、解いていきましょう。小さい「イ・ツ・ユ」などは、大きい「イ・ツ・ユ」などと同じ番号です。「ー(長音)」も1字に扱います。意味のない文字のつながりができてはいけません。

●チェック表●

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ナ	ツ	ミ	カ	ン					
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

4	2	18	19	13		8	1	9	15		11	12
11	3		8	20	3	14		18		9	12	8
10		7	18		5		17	6	6	2	7	
11	14	3		11	4	10	3		3	10		17
19		3	12	5		11	2	8		11	9	15
13	10		7		18	4		2	8		4	11
	7	7	1	2	2		1	2	3	4	5	
9	2		2	11		8	15		4		10	3
11	20	14		18	19	20		4	16	11		5
13		11	10		8	3	8	18		2	19	3
	11	11	5	4	11		14		17	18		5
16	5	20		4		11	15	10	12		4	16
3	20		11	18	9	18		1	2	6	10	3

クイズの解答は事業所名、氏名、職種を記し県連事務局に送ってください。メールは不可、ファックスは可。正解者に抽選5人に図書カードを進呈いたします。余白に日頃考えている事などを書き添えて下さい。「声」の欄に掲載させていただいた場合があります。応募資格：臨時・パート含む県連職員。締切9月17日当日消印有効。発表10月1日。7月1日号答え「ハサードマップ」応募総数7件。当選者：三川孝子/下馬みどり保育園、芳賀明子/南光台地域包括支援センター、北村明子/宮城厚生福祉会、檀原渉/事業協同組合、上田幸幸/県連事務局。(敬称省略)